

みたか議会だより

第327号

令和4年(2022年)7月31日

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249 〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
三鷹市議会ホームページ <https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/>

令和4年第2回臨時会				
				5月31日
審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続	
市長提出議案	1	1	0	0
令和4年第2回定例会				
				6月9日～6月30日
審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続	
市長提出議案	7	7	0	0
議員提出議案	11	6	5	0
請願	1	0	1	0



およそ600人が来場した特別企画事業「バンドゥーラの調べ、ウクライナの音楽の世界」（5月13日 芸術文化センター）

令和4年度一般会計補正予算など 市長提出8件・議員提出6件の議案を可決

三鷹市議会は、令和4年第2回臨時会を5月31日に開催し、「令和4年度三鷹市一般会計補正予算（第1号）」の市長提出議案を可決しました。
また、令和4年第2回定例会を6月9日から6月30日までの22日間の会期で開催しました。
定例会初日、2日目、3日目の本会議（6月9日、10日、13日）では、25人の議員が市政に関する一般質問を行いました（4～7面に一般質問の要旨）。そして、本会議3日目の一般質問終了後、市長から「三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例」など6件の議案の提案理由について説明が行われました。
4日目の本会議（6月16日）では、市長提出議案6件を所管の委員会に付託しました。
5日目の本会議（6月30日）では、各委員会の審査報告の後「令和4年度三鷹市一般会計補正予算（第2号）」など市長提出議案6件を可決、請願1件を不採択としました。その後、市長提出の追加議案1件に同意するとともに、議員提出議案（条例・意見書）について採決を行い、6件を可決、5件を否決して、第2回定例会を閉会しました。

政務活動費の実績報告書等をホームページで公開しています

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して交付されます。本市議会では、会派の所属議員数に月額2万7千円（ただし令和3年度に限り月額1万5千円）をかけた金額が交付されます（3面参照）。
政務活動費の交付及び政務活動費を充てることができ

きる経費の範囲については、「三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例」及び「三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」に定められています。本市議会では「三鷹市議会政務活動費に関する取扱要領」を定め、政務活動費を充てることができ経費の範囲を更に明確にするとともに、ホームページや情報公開総合窓口で実績報告書や領収書等を公開しています。詳しくは市議会ホームページで公開しています。

本号の主な内容

- 2面 ◇可決した議案
- 3面 ◇委員会の活動
◇令和3年度政務活動費収支実績
- 4～7面 ◇一般質問
- 8面 ◇第2回臨時会・第2回定例会審議結果
◇本会議及び予算・決算審査特別委員会インターネット配信

議 会 日 誌

日	議 事
5月13日	まちづくり環境委員会
16日	総務委員会
19日	文教委員会
20日	厚生委員会
30日	議会運営委員会、各派代表者会議
31日	本会議、議会運営委員会
6月6日	議会運営委員会、各派代表者会議
9日	本会議
10日	本会議
13日	本会議
15日	議会運営委員会、各派代表者会議
16日	本会議
17日	総務委員会、文教委員会
20日	総務委員会、文教委員会
21日	厚生委員会
22日	まちづくり環境委員会
23日	東京外郭環状道路調査対策特別委員会、調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
24日	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会、国立天文台周辺地域まちづくり検討特別委員会
27日	議会運営委員会、各派代表者会議
30日	本会議、総務委員会、文教委員会、議会運営委員会

ホームページの「議員報酬・議長交際費・政務活動費」のページをご覧ください。

議員との届け出がありました。

会派代表者の変更
4月27日付けで、令和山桜会から幹事長に渥美典尚議員との届け出がありました。

議会運営委員長の辞任及び後任副委員長の選任
5月30日に開催された議会運営委員会において、渥美典尚副委員長の辞任を許可し、副委員長互選の結果、池田有也議員を副委員長に選任しました。

議員の選任
4月28日付けで、伊東光則委員の辞任を許可し、後任委員に池田有也議員を選任しました。

表彰
5月25日、全国市議会議長会から次の議員が表彰されました。

- 【議員在職15年以上】
渥美 典尚 岩見 大三
伊東 光則 土屋けんいち

第2回臨時会 可決した 議案

市長提出議案

◆令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5億4千87万3千円を追加し、総額を79億2千82万5千円とするものです。主な内容としては、歳出予算において、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費の計上、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額を行うものです。

◆令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ4億5千81万8千円を追加し、総額を79億8千88万3千円とする。ことに、債務負担行為の補正を行うものです。補正予算の内容は、歳出予算では、総務費で、まちづくり応援寄附推進事業費の増額、吉村昭書斎(仮称)整備事業費の増額、民生費で、新型コロナウイルスワクチン接種生活困窮者自立支援金給付事業費

第2回定例会 可決した 議案

市長提出議案

条例

◆三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

心身障害者の医療費の助成に関する事務を独自利用事務に加えることに伴い、

利用する特定個人情報の一部追加するものです。

◆三鷹市市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税関係について住宅借入金等特別税額控除の特例の適用期限の延長等を行うとともに、固定資産税関係等について省エネ改修を行った既存住宅に係る固定資産税の減額措置の対象工事の拡充及び登記事項証明書におけるDV被害者等の住所の取扱いを踏まえた対応を行うほか、規定を整備するものです。

補正予算

◆令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ4億5千81万8千円を追加し、総額を79億8千88万3千円とする。ことに、債務負担行為の補正を行うものです。補正予算の内容は、歳出予算では、総務費で、まちづくり応援寄附推進事業費の増額、吉村昭書斎(仮称)整備事業費の増額、民生費で、新型コロナウイルスワクチン接種生活困窮者自立支援金給付事業費



吉村昭書斎(仮称)イメージ図

の増額、介護・障がい福祉サービス等事業所物価高騰対策支援事業費の計上、介護予防・フレイル予防活動支援事業費の計上、保育従事職員等処遇改善事業費の計上、保育施設等物価高騰対策支援事業費の計上、施設公営保育園運営事業費の増額、衛生費で、休日診療所・休日調剤薬局等一体的整備事業費の増額、自宅療養者相談支援関係費の増額、乳幼児等予防接種事業費の増額、農林費で、農産物栽培用肥料購入費助成事業費の計上、農業施設用燃料費助成事業費の計上、商工費で、公衆浴場助成事業費の増額、中小企業等特別給付金給付事業費の計上、教育費で、学校給食関係費の増額、文化プログラム・学校連携事業費の計上、体育健康教育推進校事業費の計上、学習用端末等整備事業費の増額を行うものです。歳入予算では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金の増額、市町村総合交付金の増額、介護予防・フレイル予防活動支援事業補助金の計上、保育従事職員等処遇改善事業補助金の計上、感染拡大防止対策推進事業補助金の増額、デジタル活用支援員配置支援事業補助金の計上、文化プログラム・学校連携事業委託金の計上、体育健康教育推進校事業委託金の計上、吉村昭書斎(仮称)整備事業費寄附金の増額、財政調整基金とりくみ収入の増額を行うものです。

契約

◆大沢野川グラウンド復旧工事請負契約の締結について

東京都の野川大沢調節池規模拡大工事のため、利用停止中の大沢野川グラウンドの復旧工事を実施するものです。契約の金額は、5億7千26万5千円、契約の相手方は、長谷川・三栄建設共同企業体で、工期は、契約確定日の翌日から令和5年3月30日までです。

◆三鷹都市計画道路3・4・7号(連雀通り)電線共同溝整備及び街路築造工事請負契約の締結について

電線類の地中化による安心安全のみちづくりの取り組みとして、三鷹都市計画道路3・4・7号(連雀通り)の三鷹市八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間の北側拡幅部分において電線共同溝整備工事及び街路築造工事を実施するものです。契約の金額は、1億6千48万円、契約の相手方は、三栄建設株式会社で、工期は、契約確定日の翌日から令和5年7月31日までです。

◆三鷹市立第五小学校大規模改修Ⅱ期工事請負契約の締結について

劣化診断の調査結果及び現状を踏まえ、早急に対応が必要な第五小学校の大規模改修工事を実施するものです。契約の金額は、2億2千万円、契約の相手方は、桂・三友建設共同企業体で、工期は、契約確定日の翌日から令和4年12月28日までです。

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

本坊憲緯子氏(新任)

議員提出議案

条例

◆三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

政務活動費の交付に關し、実績報告書の訂正の手續きに関する規定を整備するものです。

意見書(要旨)

◆地方公共団体情報システム標準化に向けての意見書

本市議会は、政府に対し、システム導入に向けて、地方公共団体の状況を踏まえ、次の事項を実施するよう要望する。(1)令和7年度までとした移行の目標時期について、必要に応じて柔軟な対応を検討することも、移行に伴う適切な財政支援と丁寧な情報提供を行うこと。(2)情報システムの保守・運用コストなど、総合的な支援を検討することともに、都道府県に対して、市区町村への必要な助言や情報提供などを丁寧に行うよう指導すること。

◆環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書

技術面(学校施設のZEB化に関する先導的なモデルの構築及びその横展開等)及び財政面(学校施設整備に対する国庫補助)について、次の事項に留意してさらなる推進を行うことを強く求める。(1)技術面に関しては、学校施設に関するZEB化の新たな技術の開発や周知を行うこと。特に、新築や増築といった大規模事業だけでなくLEDや二重サッシといった部分的な省エネ改修事業も、しっかりと周知を行い「できることから取り組む」「自治体・学校を増やしていく」とが、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実につなげることに留意して、周知の徹底に取り組むこと。(2)財政面に関しては、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実及び環境教育の充実に向けて、多くの学校が取り組むことができるよう、学校施設整備に対する事業予算額を増額すること。

◆生活保護制度に夏季加算新設の検討を求める意見書

生活保護利用世帯にとって電気代は大きな負担となっており、エアコンを使用しないのが実態である。また、昨今、電気料金が高騰しており、これまで以上に負担が増え、エアコン使用を控えることが予想される。現在、暖房代等の支出に対しての夏季加算はあるものの、夏季加算は認められていない。夏季加算の創設は命に関わる問題であり、早急に対処すべきである。よって、本市議会は、国会及び政府に対し、猛暑から生

活保護利用世帯の生命を守る観点から、生活保護制度に夏季加算の新設を検討することを強く要望する。

◆学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食法第2条に定める学校給食の目標の達成に向け、学校では給食を通じて食育が行われてきた。その意義は大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっている。地域を理解することや地元食文化の継承、自然の恵みなどを理解する上で食は重要である。学校給食は、「生きた教材・食の教科書」として、一環に位置づけられている。子どもたちが食べる喜びと生きる力をも身に付け、健やかな発達を保障するために学校給食費の無償化が強く求められている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経済的に苦しんでいるところへ、さらに現在の物価の高騰が暮らしを直撃している。子どもたちの命と健康を守る上でも無償化は必要である。よって、本市議会は、国会及び政府に対し、学校給食費無償化を推進するため、自治体への支援を行うよう、強く要望する。

◆シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

令和5年10月に消費税において適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入される予定となっている。同制度の導入後、消費税を算定する上での仕入れ税額控除は、税務署に申請して登録を受けた消費税課税事業者が発行するインボイス(適格請求書)に記載してある消費税額によることとなる。しかしながら、シルバー人材センターの会員のよう

な年間課税売上高が1千万円以下の事業者は、消費税の納税義務が免除されており、インボイスを発行することができない。したがって、シルバー人材センターが会員へ支払う配分金(消費税含む)については、これまでできていた仕入れ税額控除ができなくなり、その分をシルバー人材センターが新たに納税することとなる。しかし、公益法人であるシルバー人材センターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はなく、まさに運営上の死活問題である。消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1千万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されている。少額の収入しかないシルバー人材センターの会員の取り扱い額がさらに減少することなく、

シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となるためには、シルバー人材センターの会員への配分金については、適格請求書を交付することが困難な取引として交付義務を免除し、一定の事項を記載した帳簿のみの保存で仕入れ控除が認められる「適用除外等の措置を講ずる必要がある。よって、本市議会は政府に対し、シルバー人材センターの会員への配分金については、インボイス制度の適用除外とする等の措置を講ずるよう強く求める。

委員会の活動

令和4年4月～6月

総務委員会

5月16日

【行政報告】

▼ウクライナ情勢に係る当面の対応について

▼適正事務管理制度の運用開始について

6月17日、20日

【議案】

▼令和4年度三鷹市一般会計補正予算(第2号)

▼三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

▼三鷹市市税条例等の一部を改正する条例

▼大沢野川グラウンド復旧工事請負契約の締結について

▼三鷹都市計画道路3・4・7号(連雀通り)電線共同溝整備及び街路築造工事請負契約の締結について

▼三鷹市立第五小学校大規模改修Ⅱ期工事請負契約の締結について

以上6件、原案可決

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

市民部、企画部、総務部

▼総務省マイナンバーカード申請サポート事業の三鷹市との連携実施について

▼人権基本条例(仮称)について

▼スマートシティ三鷹(仮称)の実現に向けた基本方針

6月30日

▼総務委員会審査報告書の確認について

文教委員会

5月19日

【請願】

▼三鷹市立小中学校の教育現場におけるコロナ感染対策の実施について

継続審査

【行政報告】

▼学校施設長寿命化計画(仮称)を含む三鷹市新都市再生ビジョン(仮称)中間まとめについて

▼ふるさと納税を活用した三鷹市立アニメーション美術館の運営支援に係る令和3年度実績について

▼東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議大会レガシーに関する提言及び活動報告書について

6月20日

【請願】

▼三鷹市立小中学校の教育現場におけるコロナ感染対策の実施について

不採択

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

教育部、スポーツと文化部

▼令和3年度三鷹市立小・中一貫教育校評価・検証報告について

▼令和3年度三鷹中央防災公園・元気創造プラザ総点検に関する報告書について

▼「吉村昭書斎(仮称)」移築整備工事について

6月20日

▼東京2020オリンピック・パラリンピック等三鷹市レガシー創造方針について

厚生委員会

5月20日

【行政報告】

▼新型コロナウイルスワクチン接種について

▼調布基地跡地福祉施設(仮称)整備に係る基本プランの改定について

6月21日

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

市民部、生活環境部、子ども政策部、健康福祉部

▼ウクライナ避難民に係る国民健康保険税及び介護保険料の取扱いについて

▼保育所入所状況(令和4年度)

▼住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について

6月20日

ほか2件

【行政報告】

▼令和3年度三鷹市食品ロス削減研究会の報告について

▼三鷹台駅周辺地区における新たなまちづくり組織の発足について

▼新都市再生ビジョン(仮称)中間まとめ

▼三鷹駅南口駅前広場交通対策について

▼シェアサイクル事業について

6月22日

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

都市再生部

6月30日

▼ごみ減量・資源化の取組について

▼三鷹台・大沢地区の社会実験について

ほか1件

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

都市再生部

▼外環事業に係る取組状況について

6月23日

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

都市再生部

【行政報告】

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

都市再生部

▼国立天文台周辺地域まちづくり検討特別委員会について

6月24日

▼「各部の運営方針と目標」(令和4年度)について

▼都市再生部

令和3年度政務活動費収支実績

(単位:円)

Table with 10 columns: 項目, 会派の名称(人数), 令和山桜会(6人), 自由民主クラブ(4人), 公明党(4人), 民主緑風会(4人), 日本共産党(4人), いのちが大事(3人), 無所属(1人), 都民ファーストの会(1人), つなぐ三鷹の会(1人). Rows include 収入 (政務活動費, 1,080,000), 支出 (研究研修費, 2,000), and 収支差額 (収入-支出, 29,035).

※ 会派の名称及び所属議員の人数は令和4年3月1日現在
※ 収支差額について、残額は市に返還し、支出超過分は会派が負担しています。
※ 令和3年度のみ、新型コロナウイルス感染症による市財政への影響を鑑み、会派の所属議員数に月額15,000円をかけた金額に減額しています。
※ 収支実績の詳細は、市議会ホームページ等でご覧になれます。

<支出項目の説明>

Table with 4 columns: 項目, 内容, 項目, 内容. Rows explain items like 1 研究研修費, 4 資料購入費, 5 広報費, 6 広聴費, 7 事務費.

一般質問

6月9日、10日、13日の本会議で、25人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

通学路や公園遊具を点検し 子どもの安全を守れ



令和山桜会
池田 有也 議員



議員 下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷するという千葉県八街市で起きた痛ましい事故を受け、昨年9月に実施した通学路の合同点検の結果を踏まえた対応状況及び今後の対応方針について伺う。

市長 市道内17カ所のカーブミラーや歩道の防護柵、注意喚起の看板設置などをほぼ完了し、未着手箇所についても早急に対応する。

議員 住宅地の細い道を抜け道に使う人が多い。通学路の安全対策としての通学交通への対応について、所見を伺う。

都市整備部長 コミュニティ・ゾーンやあんしん歩行エリアの整備に取り組んできた。引き続き、交通管理者である三鷹警察署と連携

し適切な対応に努める。

議員 市内の公園遊具の老朽化の状況や、現在の安全基準に合致していないものの把握及び対応状況と今後の整備方針について伺う。

市長 年1回の点検結果に基づき、劣化等が著しい遊具から計画的に改修している。利用者や公園ボランティアが危険を発見した場合も同様に対応し、今後も適正な維持管理に努める。

議員 危険性を把握した遊具を交換する前に事故が起きるかもしれない。リスク管理をどう考えているか。

都市整備部調整担当部長 危険な遊具は早期に利用者に周知し、使用しないよう注意喚起していきたい。

その他の質問 地域公共交通に係る広域連携について

公共施設の利用者が快適に使用できる環境を



令和山桜会
吉沼 徳人 議員



議員 コミュニティ・センターにおいて、午前10時の開館と同時に利用する人が開館前から出入り口の外で待っている。熱中症を考慮

し開館時刻の前から館内口ビーで待てるようにすることが必要だ。所見を伺う。

市長 悪天候の場合などは、状況に応じて早めに関

場しているという。引き続き、利用者の声を聞きながら、予約のオンライン化の工夫等について住民協議会と検討したい。

議員 総合スポーツセンターの利用者は市民センター駐車場の無料になるのは最初の3時間のみだ。各種スポーツ大会の参加者については、主催者であっても駐車料金が発生してしまうことから、減免無料時間の拡大が必要だ。所見を伺う。

スポーツ文化部長 当該センターの開当初から課題の一つとして認識している。駐車料金の公平な減免の在り方について、元氣創造プラザ総点検の中で検討していきたい。

議員 公会堂北側Aゲート周辺に公会堂指定車両のスペースを見かける。市民セ

ンター駐車場の利用方法に記載はないが、どのようなことでのスペースは確保するのか。また、料金はどのようになっているのか。

市長 公会堂光のホールを利用する事業の主催者は、利用時間帯は5台無料で利用できることとしている。施設利用の主催者にも案内している。利用方法には記載していない。

不安定な社会情勢における心のケアに努めよ



令和山桜会
伊東 光則 議員



議員 コロナ拡大や不安定な社会情勢の影響による児童・生徒の心の変化と心のケアの現状と課題を伺う。

教育長 様々な社会情勢による子どもたちの心の健康が心配される。見守りや定期的なアンケートの実施により、悩みを丁寧に把握し、スクールカウンセラーが面談を行うなど、組織的な対応を図っている。心の状況をうまく伝えられない子どもの把握と対応、また、困難な状況を乗り越えて立ち直る力を身に付けさせることが課題と考える。

議員 市職員のストレス

エックの実施状況の現状と課題及びコロナ禍の影響について所見を伺う。

市長 常に90%以上の受検率を確保しているが、令和3年度は高ストレス者の割合が例年を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあったと考える。適正な人員配置に留意を用い、高ストレス者の抑制に努めていきたい。

議員 市職員の心のケアの現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

総務部調整担当部長 産業医、カウンセラー、保健師が職員の相談に応じて心の



市民センター立体駐車場(右)と三鷹中央防災公園・元氣創造プラザ(左)

ケアに取り組んでいるが、コロナ禍で日常生活に制約があり、ストレス解消につながる活動を行えない状況だ。今後は個別相談と併

せ、管理職を中心に職場環境の改善や職員への積極的支援による組織的な対策を進め、職員の心の健康の保持、増進に取り組む。

姉妹都市、友好市町村とよりよい関係を築け



令和山桜会
渥美 典尚 議員



議員 姉妹都市の福島県矢吹町とは年に数回の交流があるが、他の姉妹都市等との交流の実態は見えない。姉妹都市、友好市町村等との交流状況について伺う。

渉外部長 三鷹市管弦楽団による矢吹町への訪問演奏など自治体間だけでなく様々な団体においても交流を深めてきた。令和3年度は兵庫県たつの市を訪問するなど、相互に機会を捉えて交流を行っている。

議員 同様のことを教育長に伺う。

教育長 友好市町村の長野県川上村において川上郷自然の村を運営しており、職員も年に数回川上村を訪れ、村職員との交流や地域イベントに参加している。

議員 災害時における協力

関係を約束していれば、どちらかが被災した際に一方が災害時支援を行うことができる。姉妹都市や友好市町村との災害時における取り決めの内容を伺う。

市長 姉妹都市の福島県矢吹町と兵庫県たつの市とは大規模な災害に備え心援協定を締結しており、内容は復旧作業に必要な資機材の提供、職員の派遣等となっている。友好市町村とは災害時心援協定等の締結は行っていない。

議員 姉妹都市や友好市町村等との交流や協力関係の今後の展望について伺う。

渉外部長 自治体によって開催される事業は異なり関わり方も様々なので、機会を捉えて各自治体に合った交流で関係性を深めたい。

デジタル技術を活用し業務の質の向上に努めよ



令和山桜会
後藤 貴光 議員

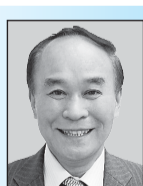


議員 政府はDX(デジタルトランスフォーメーション)への投資について、デジタル時代にふさわしい行政及び規制・制度に見直すため、デジタル改革・規制改革・行政改革を一体的に推進するとしている。本市

ではDXを念頭に置いた取り組みをこれまでどのように進めてきたのか伺う。

市長 AIチャットボットを導入したごみ分別に関する質問等への自動回答や、本市、立川市、日野市による自治体クラウドの稼働に当

地域コミュニティと自治会等の支援を



自由民主クラブ
石井 良司 議員



議員 本市の町会・自治会における課題等はますます膨らんできている。現状分析について所見を伺う。

市長 役員の高齢化、役割の固定化等に併い負担が増大し、加入率の減少と共に運営が厳しい町会・自治会等が多いと認識している。

議員 安心して住み続けられるまちづくりのために町会・自治会等の組織強化が必要だ。市が求める町会・自治会等の姿について伺う。

市長 地域の防災や環境問題等への取り組みの主体になることを期待している一方、少子高齢化等で多くの団体が担い手不足であることが大きな課題だ。

議員 まちづくりに必要な町会・自治会等の担い手人材の発掘・育成について所見を伺う。

市長 新しいつながりやデジタル化の取り組み等への支援推進により、担い手の

画策定の核となる施策を前倒しで研究していく。

議員 議案の検討や予算編成等におけるEBPM(証拠に基づく政策立案)に基づき意思決定に当たり、デジタル技術をどのように活用し取り組んでいるのか。

企画部長 第4次三鷹市基本計画(第2次改定)の財政フレームの策定においてAIによるデータ分析ツールを活用してデータの相関関係と今後の伸びを分析し、反映した。



がんばる地域応援プロジェクト発表会の様子

ように考え、推進していくのか所見を伺う。

生活環境部調整担当部長
例えば地域で活動する団体、チング等が想定される。



自由民主クラブ
穴戸 治重 議員

**民産の資源を掘り起し
まちづくりを生かせ**



議員 市が初めて国際基督教大学と共同でまちづくりや地域の課題解決についての研究会を設置した頃、若手職員として研究に参加した市長と、これからのコミュニティなどについて語り合った。当時の経験はどう今につながっているか。

市長 昭和63年に設置した研究会で学識経験者と協働研究し、市の計画や政策に反映した。この成果は、現在、民学産公協働のシンクタンクとして機能している三鷹まちづくり総合研究所の活動に継承されている。

議員 民学産公の連携の取り組みでは、平成17年に三鷹ネットワーク大学を開校したほか多くの企業・団体と協定を締結している。これらをどう総括するか。

企画部長 複雑化する市民ニーズや地域課題に対するビジョンを共有し、それぞれ情熱をかけてくれる研究者の厚い層を創出することが職員の責務だと考える。

議員 今後のまちづくりには、より深い専門性が求められる。大学の知的・人的・物質的資源をよりもっと活用すべきではないか。

市長 専門家との議論をヒントに考えること、課題解決に有効な分野の専門家を探すことが極めて重要だ。

議員 スクール・コミュニティを成功させるためにも、大学や研究者とともに新たな挑戦をすべきだ。

議員 教育現場の課題を明確にして、協力がなければ内容を提案していきたくない。

自由民主クラブ
伊藤 俊明 議員

**市の将来に向けた魅力ある
まちづくりを**



情報コーナー等を活用した地域の人々との情報共有や意見交換を行い、協働のまちづくりに取り組む。

議員 地域の活力を維持向上させるために外環道の整備用地の一部利用を国に強く求めるべきではないか。

市長 ふたかけ上部空間等の利用を望む声が寄せられているため、一時的な暫定開放も含めた地域への様々な協力を国に要請する。

議員 外環道周辺の都市計画道路の早期整備が大変重要だ。今後のまちづくりについて所見を伺う。

都市再生部長 都の都市計画道路整備に伴い、沿道の土地利用に併せた用途地域



公明党
大倉あき子 議員

**障がい者も安心して暮らせる
施策の充実を**



議員 障がい者にとって、ヘルプマークは助けを求めると支援をする人をつなぐ非常に有効なツールだ。本市においても都の包括補助を活用し配布すべきと考える。所見を伺う。

市長 ヘルプマークの配布等については近隣自治体の状況や先行事例を参考に今後検討していきたい。

議員 精神障がい者は通常の交通機関の利用が困難な人も多い。福祉タクシー事業の対象に精神障がい1級の手帳所持者も含めるべきと考える。所見を伺う。

健康福祉部長 誰もが気軽にヘルプマークの配布に問い合わせできるように各課のメールアドレスやファクス番号を周知する。

議員 遠隔地に常駐する手話オペレーターを介して手話通訳を提供する遠隔手話通訳の導入を検討してもらいたい。所見を伺う。

健康福祉部長 聴覚障がい者のニーズや手話通訳者の負担軽減等も含め、導入自治体の活用事例等も参考にしながら検討する。

議員 青年・成人の障がい

の変更や景観づくりなどを検討し、地域特性を生かしたまちづくりを進める。

議員 無電柱化の現状と課題、今後の計画を伺う。

都市整備部長 既存道路ではコスト等課題が多い。新設する都市計画道路事業に併せ、防災、景観、バリアフリー等に考慮し取り組む。

議員 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催意義と市民への周知、今後のまちづくりについて伺う。

市長 多くの市民に天文に親しみ楽しんでもらう文化を広めたい。星空を眺めるために良好なまちの景観や照明環境を保全し省エネLEDに推進にもつなげたい。

者が日中の活動や就労後などに集い、自由に余暇の時間を過ごし活動できる居場所が必要だ。所見を伺う。

健康福祉部長 多様なニーズに対応できるよう関係団体等と連携し、余暇活動や居場所事業の充実を図る。



公明党
粕谷 稔 議員

**市民の健康で豊かな暮らしの
ための施策の推進を**



議員 新型コロナウイルスの感染拡大により多くの市民が外出を控え、医療機関の受診を控えたことが懸念されている。医師会等と連携しどう対応するか。

市長 各種健康診査の受診期間を前倒しして受診票の発送を早めるなど、会場の混雑緩和と受診期間の確保に努めた。健診受診票に同封する手引きを更新し健診の重要性を説明している。

議員 コロナ禍で増加している带状疱疹の予防ワクチンが高額なため助成を望む声が多い。助成制度を導入する自治体も増えている。

第二副市長 助成する場合かなりの財政負担となるが必要性は理解する。他自治体の接種率や法定化の可能性も含め慎重に検討する。

議員 障がい者の移動や生活の利便性向上につながるデジタル障害者手帳アプリの普及を支援したい。

議員 各種証明書の交付申請等の手続きにおいて、窓口で職員が申請者から必要事項を聞き取り申請書の作成をする「書かない窓口」の設置について所見を伺う。

議員 各種手続きの際、申

請者が事前に必要事項をオンラインで入力し、発行されたQRコードを窓口で読み取ることで、申請書を記入せずに作成できる自治体もある。QRコードの活用について所見を伺う。

企画部長 「書かない窓口」検討に当たり、QRコードの活用による申請書の記入の一部省略が可能になると認識している。こうしたツールの活用も見据え、より使いやすいシステムへの導入の検討を進めたい。

議員 出産前後に必要な各種手続きをワンストップやプッシュ型で行う取り組みについて所見を伺う。

市長 今後の総合窓口化の

の導入に向けた検討を早急に進めるべきだ。

健康福祉部長 先行自治体の事例を注視し、交通機関や公共施設等、関係機関と調整しながら検討したい。

議員 コロナ以降、生活必需品のネット購入機会の増加など、生活環境が急速にデジタル社会へと変化している。高齢者のデジタル格差解消にどう取り組むか。

市長 高齢者の実態やニーズに寄り添った各種講座を新たに開設し支援する。

議員 町会・自治会の加入率が伸びず、組織の高齢化が進む状況において、SNSで情報発信に取り組む団体もある。SNSの活用支援について所見を伺う。

生活環境部調整担当部長 地域コミュニティICTフォロワー講座も活用し、町会・自治会のデジタル化と情報発信を支援したい。

議員 各種証明書の交付申請等の手続きにおいて、窓口で職員が申請者から必要事項を聞き取り申請書の作成をする「書かない窓口」の設置について所見を伺う。

議員 各種手続きの際、申



公明党
赤松 大一 議員

**市民に便利で分かりやすい
窓口サービスを**



請者が事前に必要事項をオンラインで入力し、発行されたQRコードを窓口で読み取ることで、申請書を記入せずに作成できる自治体もある。QRコードの活用について所見を伺う。

企画部長 「書かない窓口」検討に当たり、QRコードの活用による申請書の記入の一部省略が可能になると認識している。こうしたツールの活用も見据え、より使いやすいシステムへの導入の検討を進めたい。

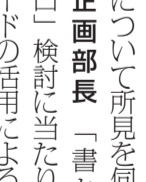
議員 出産前後に必要な各種手続きをワンストップやプッシュ型で行う取り組みについて所見を伺う。

市長 今後の総合窓口化の

状況等を踏まえつつ、研究していきたい。

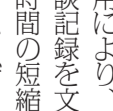
議員 生活保護の相談業務等において、人工知能(AI)の活用により、パソコン上で相談記録を文字化し記録作成時間の短縮を図ったり、テキストデータから必要な情報を抽出するテキストマイニングの手法で記録を可視化することも業務効率化に有効と考える。所見を伺う。

企画部長 相談業務等について、テキストマイニングの手法を使い分析を行う段階には至っていない。各業務の課題抽出や新たな施策検討に当たってのデータ活用に関し研究を進めたい。



民主緑風会
高谷真一郎 議員

**三鷹駅南口における交通課題の
解消に努めよ**



議員 三鷹駅南口中央通りの朝の時間帯のタクシーの進入規制については、いまだに解除されずタクシー事業者からの不満、不信が高まっている。現在の検討状況と今後の見通しを伺う。

市長 タクシーの進入規制については三鷹警察署から警視庁へ規制変更の上申を行い、公安委員会の決定を待っている状況だ。継続して状況を見守っていく。

議員 新設されたバスの待機場所については現状、活用しきれないという指摘がある。ロータリー内外でバスの待機場所を確保することについて所見を伺う。

市長 ロータリー内のバス待機場所の更なる活用やバスの動線を考慮したロー

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

タリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。

市長 交通状況や道路状況、歩行者の安全対策等の観点も含め検討している。

議員 一般車両に対するロータリー内のルールの徹底については必ずしも守られているとは言えない状況だ。具体的な取り組みと進捗状況について伺う。

交通ネットワーク推進担当部長 三鷹警察署と連携を図り規制標識以外にも看板を設置するなどして自家用車の交通ルールの徹底に向けて取り組んでいる。

その他の質問 狭隘な学 施設について



コロナで影響を受けた市民活動に細やかな支援を

民主緑風会 谷口 敏也 議員



議員 大沢の里水車経営農家及び古民家で、見学に訪れる小学生などに施設の歴史や特徴などを説明して、市民解説員の活動が、コロナ禍で休止している。解説員の多くは高齢であるが、今後の解説員活動の継続について所見を伺う。

市長 令和2年度の水車水輪の再生工事の際に、水車の保存に賛同する延べ100人からの寄付が集まった。その熱意を新たな解説員の育成と活動につなげたい。

議員 活動を休止している今、市民解説員の体制をしっかりとして再構築すべきだ。

スポーツと文化部長 現解説員の意向を聞きながら安心して活動できる環境を整備し、新たな人材を育成する講座やスキルアップ講座

生活環境部調整担当部長 説明会の会場協力や広報とともに、経営相談窓口やドバイザー派遣制度を活用した個別支援に取り組む。

議員 都は首都直下地震などの被害想定を10年ぶりに見直した。本市の被害想定分析について伺う。

市長 震度6強の地域が拡大する一方で建物被害は減少すると想定されている。議員 各世帯に対する居住環境に合った家庭内備蓄の意識向上を図ることが重要だ。所見を伺う。

危機管理担当部長 地域で



首都直下地震への市の取り組みと現状を問う

民主緑風会 岩見 大三 議員



議員 行方防災訓練等で紹介している。引き続き機会を捉え、備蓄についての普及啓発に取り組みたい。

議員 大規模地震の場合、マンション等で停電した際には水が出なくなることも想定される。この場合の対応について伺う。

危機管理担当部長 断水時でも生活ができる事前準備を進めるよう意識啓発に努

めてきた。引き続き地道に取り組みたい。

議員 保育所における地震が発生した場合の避難行動及び保護者との連絡体制について伺う。

子ども政策部長 できる限り施設内での保育を継続するが、課題が生じた場合は近くの一時避難所へ避難する。保護者への連絡はメール

議員 学校3部制を目指す中で、中学校を地域ケアネットワークの拠点にしてはどうか。所見を伺う。

教育長 多世代交流の場として第3部の時間帯で学校施設を提供することが考えられる。要望があれば実現に向け協力したい。

議員 高齢者住宅の入居募集に対する倍率が高い状況にある。所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長 高齢者が円滑に入居できるための相談等を行っており、引き続き居住支援制度等を活用し支援していく。

議員 家族介護慰労金事業は、要介護4以上の住民税非課税世帯の在宅高齢者が介護保険サービスを利用しなかった場合に慰労金を贈呈する事業だが、介護を家

推進する教育長にも伺う。教育長 スキームの検討に教育委員会も連携したい。

議員 地域学校協働活動を

市民を守る視点に立ち学校。教育環境の整備を

文科省が出した学校施設の被害・土砂災害対策

議員 文科省が出した学校施設の被害・土砂災害対策

議員 文科省が出した学校施設の被害・土砂災害対策

議員 文科省が出した学校施設の被害・土砂災害対策

議員 文科省が出した学校施設の被害・土砂災害対策

きでなく現地での建て替え等による防災機能の強化についても検討すべきだ。

市長 現地での改修はできないが、天文台という敷地を市民、子どもたちに開いていくことがとても大切だと思っている。

議員 都立高校入試における英語スピーキングテストについては採点の不透明性など多数の問題が指摘されている。市教育委員会から都に中止を求めるべきだ。

教育長 話すことの見聞取ることができる英語スピーキングテストの実施は、肯定的に捉えている。

議員 スピーキングテストの結果を入試の可否判定に含めないことだけでも都に求めるよう徹底していく。

議員 コロナ禍での物価高騰で全市民が深刻な打撃を受けている。市民生活の実態をどう把握しているか。

市長 市民の家計に直結し生活に影響を及ぼすものとして強い危機感を感じている。

議員 市として、市民の大きな負担である国保税や後期高齢者医療保険料、介護保険料、住民税の特別減免措置の緊急対応が必要だ。

市民部長 物価の高騰は全国的な問題であり、各種保険料や税負担の在り方については、財源措置を含めて国が全国一律の対応をすべき課題だと考える。市では引き続き、納税相談や就労支援窓口などできめ細やかな対応に努めていく。

議員 コロナ禍での物価高騰で全市民が深刻な打撃を受けている。市民生活の実態をどう把握しているか。

市長 市民の家計に直結し生活に影響を及ぼすものとして強い危機感を感じている。

議員 市として、市民の大きな負担である国保税や後期高齢者医療保険料、介護保険料、住民税の特別減免措置の緊急対応が必要だ。

市民部長 物価の高騰は全国的な問題であり、各種保険料や税負担の在り方については、財源措置を含めて国が全国一律の対応をすべき課題だと考える。市では引き続き、納税相談や就労支援窓口などできめ細やかな対応に努めていく。

議員 コロナ禍での物価高騰で全市民が深刻な打撃を受けている。市民生活の実態をどう把握しているか。

市長 市民の家計に直結し生活に影響を及ぼすものとして強い危機感を感じている。

議員 市として、市民の大きな負担である国保税や後期高齢者医療保険料、介護保険料、住民税の特別減免措置の緊急対応が必要だ。

増収分は社会保障給付費や少子化対策などに充当して、税率引き下げや廃止を要望することは難しい。

議員 本市新川四丁目の中央高速道路の緩衝緑地帯は騒音、振動、大気汚染の緩和対策として確保されたもの

市長 緩衝緑地帯は中央高速道路を走る車両等による騒音や排気ガス、振動を始め、景観や自然環境等に対する地域への影響を緩和するためのものと認識する。

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による



中央高速緩衝緑地帯の適正な管理で緑の保全を

日本共産党 栗原けんじ 議員



議員 本市新川四丁目の中央高速道路の緩衝緑地帯は騒音、振動、大気汚染の緩和対策として確保されたもの

市長 緩衝緑地帯は中央高速道路を走る車両等による騒音や排気ガス、振動を始め、景観や自然環境等に対する地域への影響を緩和するためのものと認識する。

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による

議員 緩衝緑地帯の貴重な緑が大量に伐採され、周辺環境が大幅に変わり影響が出ている。樹木伐採による



新川四丁目の中央高速道路緩衝緑地帯



親亡き後も住み続けられる障がい者施策を

日本共産党 大城 美幸 議員



議員 緊急時における障がい者の施設への受け入れ・対応の現状と課題を伺う。

健康福祉部長 一定程度対応できているが、今後、障

いる障がい者の把握状況について伺う。

健康福祉部長 令和元年度の調査では、希望する暮らし方として障がい者や家族の約4割が入所施設を、約6・6割がグループホームを希望していた。特にグループホームの入居希望者が増えており、5年間で入居者が3割以上増えている。

議員 市の福祉サービスにつながっていない障がい者の把握状況について伺う。

健康福祉部長 様々な理由から福祉サービスにつながらない障がい者がいることは認識している。障がい者の

の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた地域生活支援拠点事業を推進する中で、必要なサービスが届くよう努めたい。

議員 難病や疾患等、複合的な障がいのある人でも利用できる施設の確保について所見を伺う。

健康福祉部長 難病や障がいの有無、障がいの種別や程度に関わらず、一人一人の市民に寄り添った相談や支援を行うことは行政の責務だと認識している。できる限り本人の希望に沿った地域生活の継続が実現できるように相談支援に努める。

基本的な人権を守る個人情報保護条例を堅持せよ



いのちが大事 嶋崎 英治 議員



議員 個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン等における、しなげればならない、してはならない等の記述は国による統制であり、改正個人情報保護法は地方分権及び個人情報保護の後退につながる恐れがある。所見を伺う。

市長 改正法の施行後は本市にも改正個人情報保護法が適用され、その趣旨を示したガイドライン等についての対応が求められるものと考えます。

議員 当該ガイドライン等に従わなかった場合、法違反と判断される可能性が。このことについて自治事務には地方自治体の自主的な法解釈権があることから、国の越権行為との指摘がある。所見を伺う。

市長 改正法との整合性を

高齢者や子どもの福祉を支える人材への処遇改善を



いのちが大事 伊沢けい子 議員



議員 福祉住宅及びシルバーピアは、住宅に困窮する高齢者の受け皿となってきた。今、単身世帯や低所得の高齢者が増える中で入居のニーズが高まっているのではないかと見解を伺う。

健康福祉部調整担当部長 この5年間において、単身用住宅は2桁台の倍率が続き、ニーズは一定程度あると認識している。

議員 福祉住宅の生活協力員の仕事は労働契約ではなく、社会保険や退職金もない。処遇改善を行わない限り、今後、人材は確保できないのではないか。

健康福祉部調整担当部長 生活協力員の欠員に応募がないのは、家族が同じ建屋に住み込みで入居者の見守りを行う形態が、今の時代に合わなくなってきたことが大きな要因だと考える。

議員 ファミリー・サポート・センターの利用会員が保育園の送り迎えなどで支援の依頼をしても、援助会員が確保できずサービスを提供できないことはどれくらいあるのか。

子ども政策部長 令和3年度の援助活動実績4千824件に対し、全体の1割に満たない件数が支援につながらなかったと認識している。

健康福祉部調整担当部長



シルバーピアが設置されている市内の都営住宅

市民の声が活かせるまちづくりを



いのちが大事 野村 羊子 議員



議員 国立天文台周辺のまちづくりにおける今後の計画の進め方と計画策定の時期の見直しについて伺う。

市長 天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくりに向け、本

対応するのか。

教育長 様々な整備の可能性が考えられるが、現在は検討段階なので、市民の意見を聞き、よりよい計画にしていこう。人的環境も含め教育環境は大事にしたい。

議員 新都市再生ビジョン(仮称)について、今後の公共施設の維持管理等に当たっては、量の最適化より質の向上を目指すべきだ。

都市整備部長 施設の縮減や統廃合を目的とするのではなく、質の向上と魅力ある施設づくりを目指す。

議員 ビジョンにおける今後の財政見通しについて、公債費が15億円に継続しているのは財政的余裕を示すミスリードではないか。誤解のないよう示すべきだ。



無所属 半田 伸明 議員



公債費の減で投資余力ありと決めつけるな

議員 複数年の支出が決まっている債務負担行為のうち、一般財源の負担を直近の予算と10年前とで比較すると42億円から19億円に増加している。また、福祉に関する経費である扶助費のうち、一般財源の負担を直近の決算と10年前とで比較すると43億円から67億円に増加している。両者の増要因について伺う。

市長 債務負担行為の一般財源負担額の増についてはシステム調達の契約手法の変更やリース方式による空調設備、施設整備などが影響し、扶助費の一般財源負担を増やすことは悪ではない。

議員 今後の財政見通しについて、公債費が15億円に継続しているのは財政的余裕を示すミスリードではないか。誤解のないよう示すべきだ。

第二副市長 新たなファシリテイ・マネジメントの関係で改修費が必要になれば上乗せしたシミュレーションを作る可能性はある。

議員 外環道におけるシールドマシンの事故再発防止対策強化を求めたい。

都市再生部長 今回の地中壁への接触は未然に防げたと考える。改めて設計内容の確認、調査徹底を求める。

議員 複数年の支出が決まっている債務負担行為のうち、一般財源の負担を直近の予算と10年前とで比較すると42億円から19億円に増加している。また、福祉に関する経費である扶助費のうち、一般財源の負担を直近の決算と10年前とで比較すると43億円から67億円に増加している。両者の増要因について伺う。



都民ファーストの会 山田さとみ 議員



市民目線を大切にしたい 市政の実現を

議員 PTA会員がいつでも相談ができる明確な窓口

後の財政見通しについて、公債費が15億円に継続しているのは財政的余裕を示すミスリードではないか。誤解のないよう示すべきだ。

第二副市長 新たなファシリテイ・マネジメントの関係で改修費が必要になれば上乗せしたシミュレーションを作る可能性はある。

議員 外環道におけるシールドマシンの事故再発防止対策強化を求めたい。

都市再生部長 今回の地中壁への接触は未然に防げたと考える。改めて設計内容の確認、調査徹底を求める。

議員 複数年の支出が決まっている債務負担行為のうち、一般財源の負担を直近の予算と10年前とで比較すると42億円から19億円に増加している。また、福祉に関する経費である扶助費のうち、一般財源の負担を直近の決算と10年前とで比較すると43億円から67億円に増加している。両者の増要因について伺う。



つなぐ三鷹の会 成田ちひろ 議員



子どもに関する施策の仕組みをよりよくする視点を

議員 認可保育園の入所選考基準について、同一点数の場合における各家庭の状況を細かく反映した世帯間の優先順位付けを検討すべきと考える。所見を伺う。

子ども政策部調整担当部長 例年保護者から様々な意見があり、今後もより公平・公正な選考が実施できるような適切な運用を図りたい。

議員 兄弟で同じ園に通えていない家庭もある。このような問題の解決を入所選考基準に盛り込むことが求められている。所見を伺う。

健康福祉部長 国は統一された予診票のデジタル化の実現等を示しており、動向を注視するとともに医師会と確認しつつ検討したい。

議員 PTAの支援体制について、総合教育会議で取り扱うべきと考えるが、所見を伺う。

市長 問題がない限りは教育委員会の主体性を維持していきたい。教育に関わる様々な方の活動を支援し大事にしていきたい。

議員 学童保育所における障がい児の6年生までの受入れを実施すべきだ。必要性は強く認識している。施設面での環境整備等、運営上の課題を解決し、実施できるよう取り組む。

議員 井口特設グラウンドの今後の在り方について、早期に市側の方針を示し、市民の意見を聞きながら具體の方針を策定すべきだ。

市長 今後、土地利用のプランをつくる中で方向性が見えた時点で、利用者も含めて意見を聞き、議会で報告しながら前へ進むことも重要と考える。

議員 認可保育園の入所選考基準について、同一点数の場合における各家庭の状況を細かく反映した世帯間の優先順位付けを検討すべきと考える。所見を伺う。

「声の議会だより」をご利用ください

三鷹市議会では、目の不自由な方を対象に、本紙の内容を力セットテープ及びデジタル版CDに録音した「声の議会だより」を発行しています。ご希望の方に郵送でお届けいたしますので、ご利用ください。また、お知り合いで希望する方がいらっしゃいましたら、議会事務局をご案内ください。

令和4年第2回臨時会・第2回定例会審議結果

Table with columns for 議員名 (Mitaka City Council Members), 議案等の名称 (Proposal Name), 議決結果 (Decision Result), and 議決月日 (Decision Date). Rows include items like '令和4年度三鷹市一般会計補正予算' and '三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例'.

※ 党派名の略称は次のとおり (自)自由民主党 (公)公明党 (立)立憲民主党 (共)日本共産党 (維)日本維新の会 (都)都民ファーストの会 (無)無所属
※ 議員名の下括弧は党派名。略称は次のとおり
※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 議員氏名欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 討論の様子については、市議会ホームページ(下記参照)の市議会中継(録画中継)でご覧になれます。

本会議と予算・決算審査特別委員会のインターネット配信を行っています
https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/
三鷹市議会では、インターネットによる本会議と予算・決算審査特別委員会の生中継及び録画中継の配信を行っています。生中継については、原則としてその日の会議が始まる10分前から開始し、会議が終了するまでの間、また、録画中継については、原則として本会議または委員会を開催した日の翌々日の午前10時(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日等を除きます)から開始し、当該本会議録または委員会記録が完成するまでの間、それぞれご覧いただくことができます。

《令和4年第3回定例会の予定》
9月1日(木) 本会議(一般質問) ※第1回請願・陳情締め切り(午後5時まで)
9月2日(金) 本会議(一般質問)
9月5日(月) 本会議(一般質問、議案上程)
9月8日(木) 本会議(議案・請願等審議、決算代表質疑)
9月9日(金) 常任委員会
9月12日(月) 常任委員会
9月13日(火) 常任委員会
9月14日(水) 常任委員会
9月15日(木) 決算審査特別委員会
9月16日(金) 決算審査特別委員会
9月20日(火) 決算審査特別委員会
9月21日(水) 決算審査特別委員会
9月22日(木) 東京外郭環状道路調査対策特別委員会 調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
9月26日(月) 三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会 国立天文台周辺地域まちづくり検討特別委員会 ※第2回請願・陳情締め切り(正午まで)
9月30日(金) 本会議(決算審査特別委員会審査報告、議案等審議)

「みたか議会だより」は三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。 ⇨シルバー人材センター ☎ 0422(48)6721